

乳がんによりセンチネルリンパ節生検もしくは腋窩リンパ節郭清術を受け、その後、外来にてリンパ浮腫と診断され作業療法を処方された患者さんまたはご家族の方へ（包括同意による臨床研究に関する説明）

大和市立病院 リハビリテーション療法科では、上記の治療を施行された患者様の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については安全に管理します。本研究へ協力を望まれない患者さん及びご家族は、1階総合案内、又は、各病棟ナースステーションに用意されている「試料等の研究目的利用に関する不同意書」の備考欄に研究名を記載し、1階総合案内に提出をお願いします。調査の対象となることに同意をされない場合でも不利益はありません。

研究課題名（承認番号）	乳がん術後のリンパ浮腫の重症度における危険因子の検討（2020-A14）
当院の研究責任者（所属・職位）	坂下慶多（リハビリテーション療法科・主任）
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
研究の概要・背景・目的	乳がん術後のQOLを損なう後遺症のひとつに上肢リンパ浮腫があり、リンパ浮腫の程度は個人によって様々であります。乳がん術後のリンパ浮腫の重症度における危険因子の検討を行うことで、リハビリテーションの介入の一助とすることを目的としております。より詳細な内容に関しては、担当者までお問い合わせください。
調査期間	2014年9月1日から2020年8月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる方	上記期間内に乳がんによりセンチネルリンパ節生検もしくは腋窩リンパ節郭清術で当院に入院され、その後、外来にてリンパ浮腫と診断され作業療法を処方された方
使用する診療情報	2014年9月1日から2020年8月31日までのカルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、BMI、利き手、併存疾患、既往歴、生活歴、手術内容（手術日・術式・除去されたリンパ節数）、術後のドレナージ期間、術後の放射線治療・化学療法の有無、患/健側上肢の周径、皮膚の状態、リンパ浮腫発症誘因を診療録、リハビリカルテより情報収集する。尚、取得した診療情報については二次利用する可能性があります。その際には、あらかじめ倫理審査委員会にて審査を受けます。
試料/医療情報の他の研究機関への提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	神奈川県大和市深見西 8-3-6 TEL:046-260-0111 FAX:046-260-3366 所属・職位：大和市立病院 医療技術部 リハビリテーション療法科 作業療法士 主任 担当者：坂下慶多（サカシタケイタ）
備考	